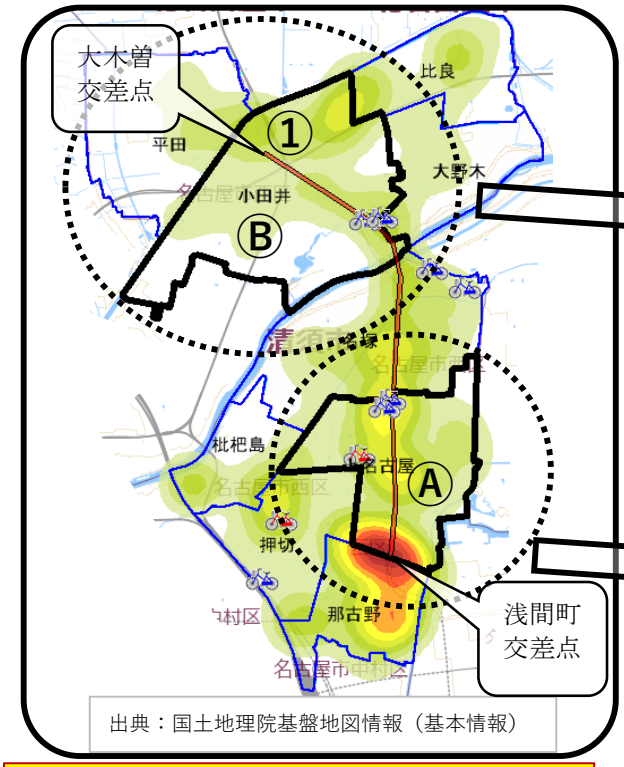
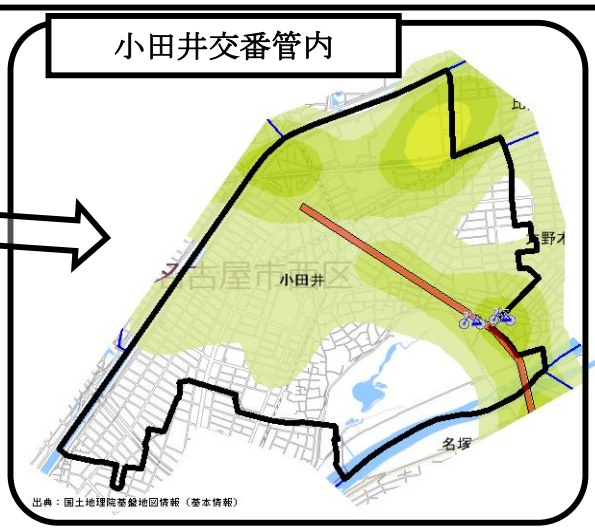
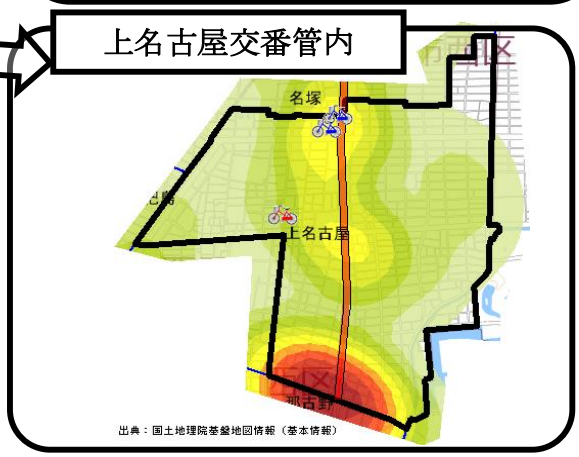
様式第３

令和６年自転車指導啓発重点地区及び路線　　西警察署







この地区で

<u>よく見られる自転車利用者の違反形態</u>

- **一時停不停止**
- **信号無視**
- **傘さしなどのながら運転**

凡　例

自転車事故密度分布

低　　高

自転車指導啓発重点地区

自転車指導啓発重点路線

重傷事故発生場所

死亡事故発生場所

自転車事故件数			
区分	R3. 1 ～R5. 10	西警察署 管内	
		重傷事故	死亡事故
自転車関連事故	339	7	2

①	主要地方道名古屋江南線		
浅間町交差点	～	大木曽交差点	6, 265 m
選定理由			
路線区間に地下鉄駅が５つあり、自転車通勤者が集中していることもあり、自転車事故の発生が多く対策の必要があるため。			

Ⓐ	【重点地区】
上名古屋交番管内	
選定理由	
自転車事故は減少傾向ではあるが、管内で一番多く発生しており、自転車と歩行者の事故も多発しており、高齢者も多く居住していることから更なる減少に取り組む。	

Ⓑ	【重点地区】
小田井交番管内	
選定理由	
これまでの取り組みの結果、自転車事故が減少しているものの自転車利用者が多く訪れる大型ショッピングセンターや自転車通勤者が多い駅もあることから継続し、更なる減少に取り組む。	

愛知県警察